

## 第12節 景観

対象事業実施区域及びその周辺における景観資源・構成要素及び主要な景観の状況を調査し、工事中における土地造成（切土・盛土）、樹木の伐採及び廃材・残土等の発生・処理、供用時における太陽光発電施設の存在による周辺環境への影響について予測及び評価を行った。

### 12-1 調査

#### 1. 調査項目

対象事業に伴う景観への影響について予測するための基礎資料を得ることを目的に、表4-12-1に示す項目について調査を行った。

#### 2. 調査方法

各調査項目における調査方法及び調査頻度・時期を表4-12-1に示す。

表 4-12-1 現地調査内容（景観）

環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期等	調査地点数
景観 ・景観資源及び構成要素 ・主要な景観	景観資源及び構成要素	現地踏査及び写真撮影	1回	15地点
	主要な景観		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地点1～10 4回／年（春季、夏季、秋季、冬季）</li> <li>・地点11 3回／年（春季、夏季、秋季）</li> <li>・地点12 1回／年（冬季）</li> <li>・地点13～15 1回／年（秋季）</li> </ul>	

#### 3. 調査地域及び地点

景観の調査地域は、施設の存在による主要な景観への影響を考慮して、対象事業実施区域及びその周辺とした。

また、調査地点は、表4-12-2及び図4-12-1に示す15地点とした。

表 4-12-2 景観に係る現地調査地点の設定理由

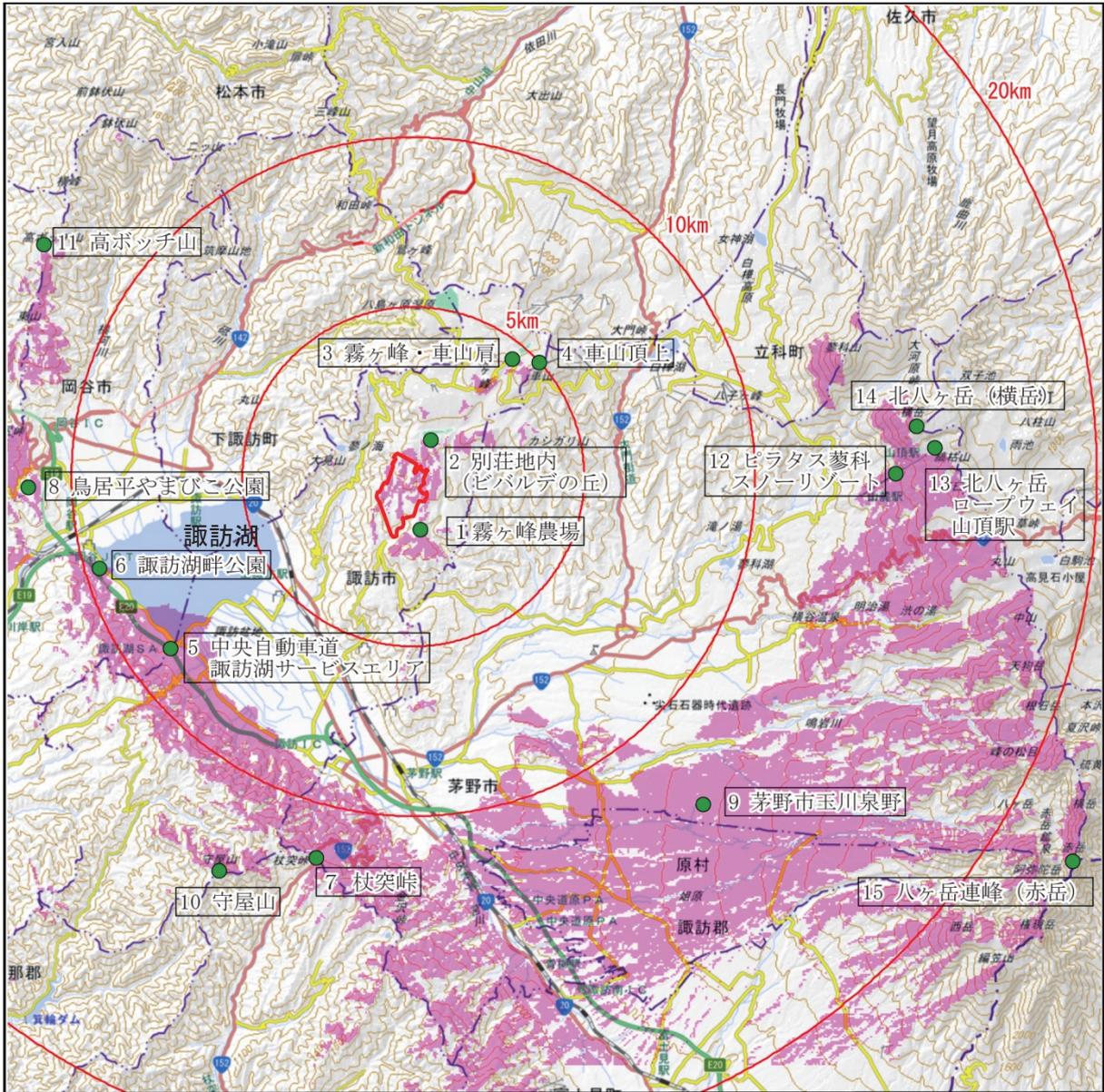
地点番号	地点名	設定根拠
1	霧ヶ峰農場	対象事業実施区域の近隣に位置する生活の場であるため、調査地点として選定した。
2	別荘地内（ビバルデの丘）	
3	霧ヶ峰・車山肩	
4	車山頂上	
5	中央自動車道諏訪湖サービスイリア	
6	諏訪湖畔公園	
7	杖突峠	
8	鳥居平やまびこ公園	
9	茅野市玉川泉野	対象事業実施区域が可視範囲に含まれる範囲の中で、集落の代表地点として選定した。
10	守屋山	対象事業実施区域が眺望に含まれ、多数の利用がある場所であるため、調査地点として選定した。
11	高ボッチ山	
12	ピラタス蓼科スノーリゾート	
13	北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅	対象事業実施区域が眺望に含まれる山岳地の頂上であるため、調査地点として選定した。
14	北八ヶ岳（横岳）	
15	八ヶ岳連峰（赤岳）	
—	霧鐘塔	対象事業実施区域が眺望に含まれないことから、調査地点として選定しなかった。

#### 4. 調査期間

調査期間は、四季による景観の変化を考慮し、表 4-12-3 に示す期間に実施した。

表 4-12-3 調査実施期間

調査項目	調査実施期間
景観資源及び構成要素	平成 28 年 5 月 13 日（金）～14 日（土）地点 1、3～9、11 平成 28 年 7 月 12 日（火）地点 2 平成 28 年 8 月 26 日（金）地点 10 平成 28 年 10 月 12 日（水）地点 15 平成 28 年 11 月 5 日（土）地点 13、14 平成 29 年 2 月 16 日（木）地点 12
主要な景観	春季 平成 28 年 5 月 13 日（金）～14 日（土）、28 日（土） 平成 29 年 5 月 12 日（金）、19 日（金） 夏季 平成 28 年 7 月 12 日（火）、8 月 11 日（木）、 8 月 24 日（水）、26 日（金） 平成 29 年 7 月 10 日（月） 秋季 平成 28 年 10 月 12 日（水）、11 月 5 日（土）、 11 月 16 日（水）～17 日（木） 冬季 平成 29 年 2 月 14 日（火）～16 日（木）

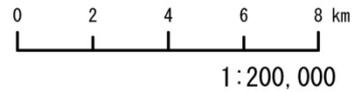


凡 例

- 対象事業実施区域
- 景観調査地点
- 可視範囲

(対象事業実施区域の上部で尾根上に位置するもっとも見えやすい場所が見える範囲を示す)

図 4-12-1  
景観調査地点



1:200,000

## 5. 調査結果

### 1) 対象事業実施区域及びその周辺の地形・植生・土地利用

#### (1) 地形的特徴

対象事業実施区域は、諏訪盆地から霧ヶ峰に至る山地の南西斜面中腹に位置する。霧ヶ峰は、車山（標高 1924.7m）を最高点とするなだらかな台地状の高原であり、各所から八ヶ岳連峰をはじめ、南アルプス、中央アルプス、北アルプス、富士山、御嶽山、浅間山等のがわが国を代表する山岳の眺望を得られる。

対象事業実施区域は諏訪盆地に面した南西斜面に位置し、かつ標高が高い場所に位置しながらも、茅野横河川のやや奥まった谷を中心としたエリアであること、斜面下部に張り出した尾根状の地形が存在することなどから、低地からの眺望は概ね遮られており、眺望が開けているのは、対象事業実施区域よりも標高の高い場所である。

#### (2) 植生・土地利用の状況

対象事業実施区域及びその周辺は、主としてカラマツ植林やアカマツ群落、クリーミズナラ群落を主体とする落葉広葉樹林が混在している。

対象事業実施区域は、かつては採草地として利用されていた。その後部分的にカラマツが植林されて現在に至っている。

### 2) 景観資源・構成要素

「第2章 地域概況」の「3-6 景観・文化財の状況」で示したとおり、対象事業実施区域の周辺には自然景観資源として「霧ヶ峰」、「霧ヶ峰湿原」、「池のくるみ湿原」の3つがある（「第3回自然環境保全基礎調査—長野県自然環境情報図」平成元年、環境庁による）。

「霧ヶ峰」は対象事業実施区域の北側に位置する、台地上の火山性高原である。最高点車山（標高 1,925m）を中心として広大な草原が広がり、諏訪盆地と諏訪湖、そして八ヶ岳連峰、富士山、南アルプス、中央アルプス、北アルプス等の雄大な眺望が得られる。特徴的な草花が数多く見られ、特にニッコウキスゲが見頃となる7月下旬は大勢の観光客で賑わう。対象事業実施区域は利用拠点である車山山頂及び車山肩から一部が見える。

「霧ヶ峰湿原」は、霧ヶ峰高原内に位置する典型的な高層湿原である。この名称は、一般的には霧ヶ峰最大の湿原である「八島ヶ原湿原」を指すが、同じ霧ヶ峰にある「池のくるみ湿原」及び「車山湿原」と合わせ「霧ヶ峰湿原植物群落」として国の天然記念物になっている。対象事業実施区域は「霧ヶ峰湿原」及び「池のくるみ湿原」からは見えない。

### 3) 主要な景観

調査地点ごとの主要な景観の調査結果を、図 4-12-2～31 に示す。

(1) 地点1 霧ヶ峰農場

① 地点の概要

地点名	1 霧ヶ峰農場			
地点の全景	平成 28 年 5 月 13 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 11:38/天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	0.7km	事業地の方角	北～西
	事業地中心付近まで	1.5km	標高	1,314m
眺望の対象	特になし			
眺望点の状況	道路端にあり、眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界まで約0.7kmと近接している。樹林の背後に見える尾根筋とその手間側の斜面が対象事業実施区域である。農耕地内であり、耕作が行われているため、眺望は作物の状況により変化する。調査実施時はトウモロコシが栽培され、夏季はその生長によって眺望が遮られた。遠景はカラマツ林が主体であり、晩秋には落葉する。			
位置図				

図 4-12-2 地点1 の概要

② 季節ごとの眺望の状況

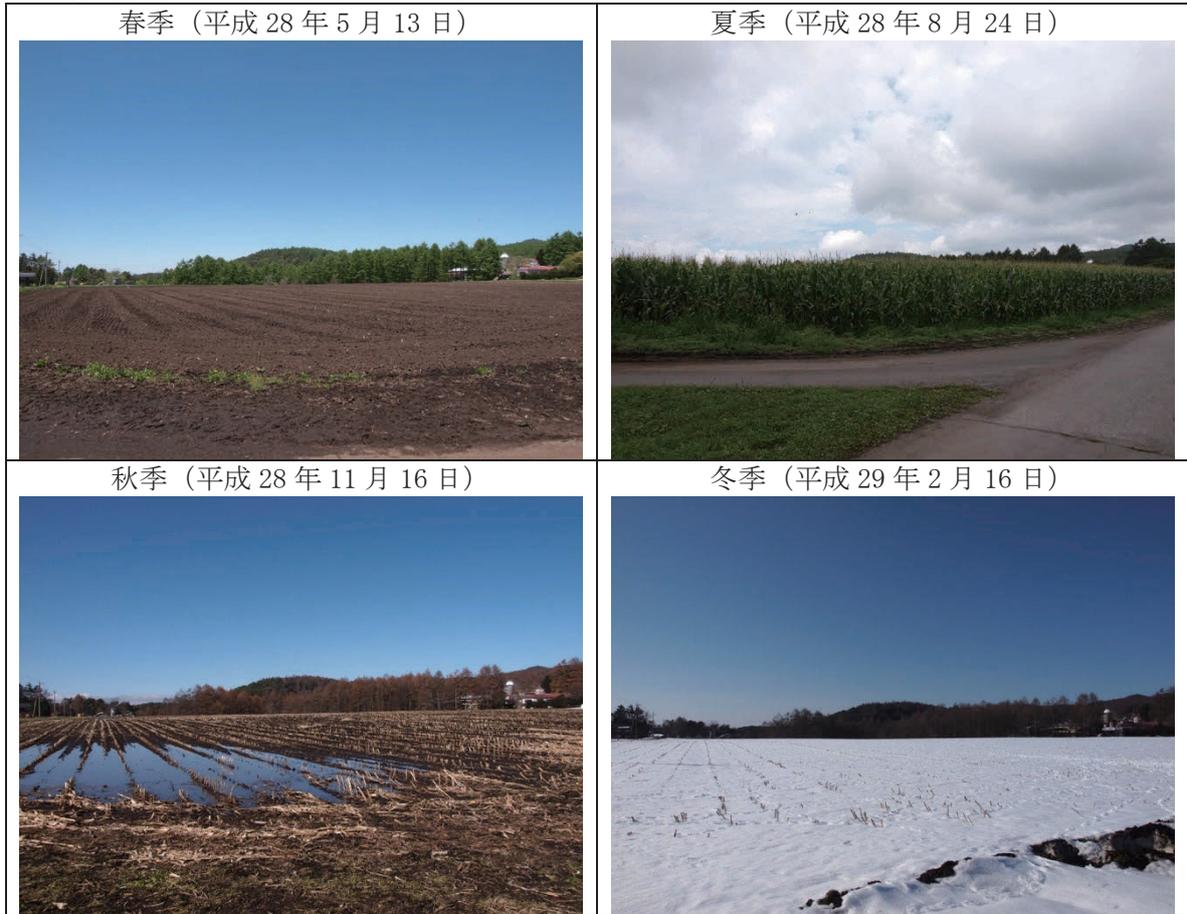


図 4-12-3(1) 地点 1 の眺望の状況（方向 1）



図 4-12-3(2) 地点 1 の眺望の状況（方向 2）



図 4-12-3(3) 地点 1 の眺望の状況（方向 3）

(2) 地点2 別荘地内 (ビバルデの丘)

① 地点の概要

地点名	2 別荘地内 (ビバルデの丘)		
地点の全景	平成 28 年 7 月 12 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 14mm / 時間 10:22 / 天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 0.7km	事業地の方角	南～南西
	事業地中心付近まで 1.7km	標高	1,549m
眺望の対象	南アルプス		
眺望点の状況	道路端に位置し、眺望のための施設等は整備されていない。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界まで約0.7kmと近接している。対象事業実施区域との間に樹林帯があり、その隙間に見える斜面が対象事業実施区域である。別荘地内であり、周囲は広葉樹やカラマツ林が主体の森林となっている。春から秋までは緑が多く、晩秋には落葉する。		
位置図			

図 4-12-4 地点 2 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-5 地点 2 の眺望の状況

(3) 地点3 霧ヶ峰・車山肩

① 地点の概要

地点名	3 霧ヶ峰・車山肩		
地点の全景	平成 28 年 5 月 13 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 13:32/天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 4.0km	事業地の方角	南西
	事業地中心付近まで 5.1km	標高	1,797m
眺望の対象	霧ヶ峰草原、南アルプス、中央アルプス等		
眺望点の状況	駐車場端にあり、眺望のための施設等は整備されていない。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 5.1km 離れている。霧ヶ峰草原の中心部であり、草原が広がる独特な景観が見られる。遠景は諏訪盆地を挟んで守屋山と、その向こうに中央アルプスの山並みが連なる。対象事業実施区域は、谷状の鞍部に斜面の一部が垣間見える。草原が主体のため、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。付近にはニッコウキスゲやマツムシソウなど、高原草地に特有の植物が多数見られる。冬季は積雪に覆われる。		
位置図			

図 4-12-6 地点 3 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-7 地点 3 の眺望の状況

(4) 地点4 車山頂上

① 地点の概要

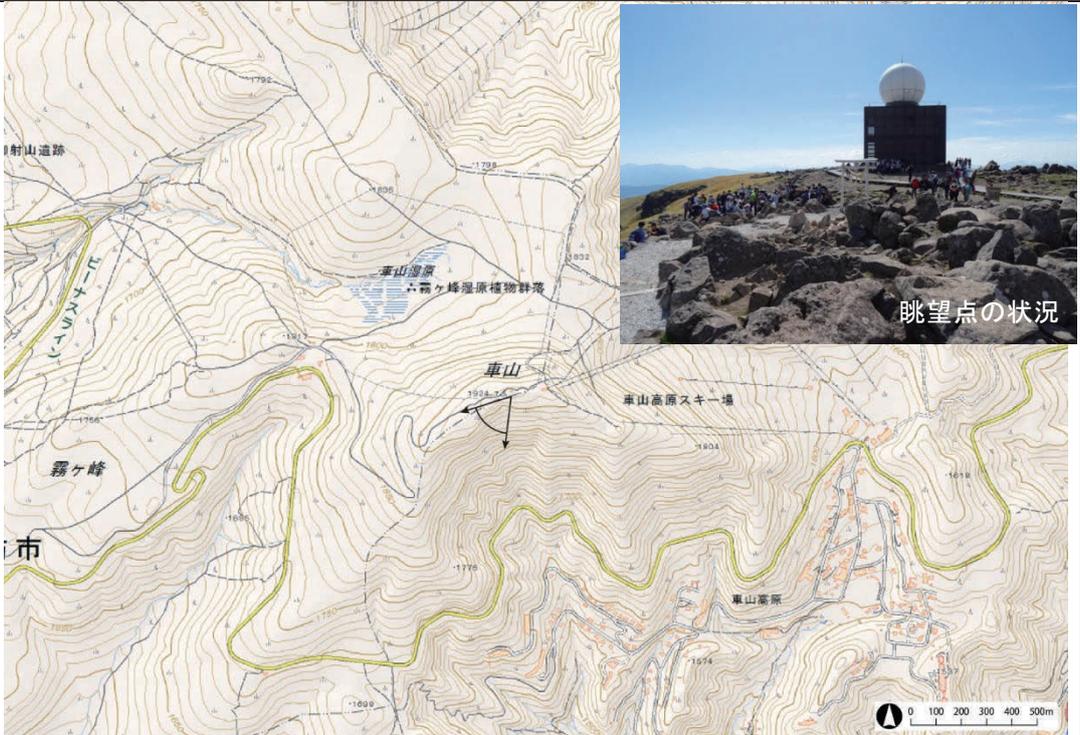
地点名	4 車山頂上		
地点の全景	平成 29 年 2 月 16 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 14mm / 時間 12:35 / 天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 4.6km	事業地の方角	南西
	事業地中心付近まで 5.7km	標高	1,910m
眺望の対象	南アルプス、中央アルプス、諏訪盆地等		
眺望点の状況	車山山頂付近の広場となっている。山頂全体は眺望が良く、この地点について眺望のための施設等は整備されていない。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 5.7km 離れている。車山の周辺は霧ヶ峰の草原地帯であり、草原が広がる独特な景観が見られる。遠景は諏訪盆地を挟んで守屋山と、その向こうに中央アルプスの山並みが連なる。対象事業実施区域は、手前下方の小ピーク・ガボッチョの右奥に斜面の一部が見える。草原が主体のため、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。冬季は積雪に覆われる。		
位置図			

図 4-12-8 地点 4 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-9 地点 4 の眺望の状況

(5) 地点5 中央自動車道諏訪湖サービスエリア

① 地点の概要

地点名	5 中央自動車道諏訪湖サービスエリア			
地点の全景	平成 29 年 2 月 14 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 14mm / 時間 14:29 / 天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	7.3km	事業地の方角	北東
	事業地中心付近まで	8.1km	標高	805m
眺望の対象	諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳			
眺望点の状況	中央自動車道諏訪湖サービスエリア内にあり、眺望のためのデッキ等が整備されている。調査は上り線で実施した。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約7.3km 離れている。高台からの景観であり、眼下には諏訪湖と水田や市街地、遠景は霧ヶ峰から諏訪盆地へ下る斜面と、その向こうに八ヶ岳連峰が望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。水田はイネの生育に伴い景観が変化する。また遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。高速道路沿いは広葉樹が生育しており、秋は紅葉が楽しめる。			
位置図				

図 4-12-10 地点 5 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-11 地点 5 の眺望の状況

(6) 地点6 諏訪湖畔公園

① 地点の概要

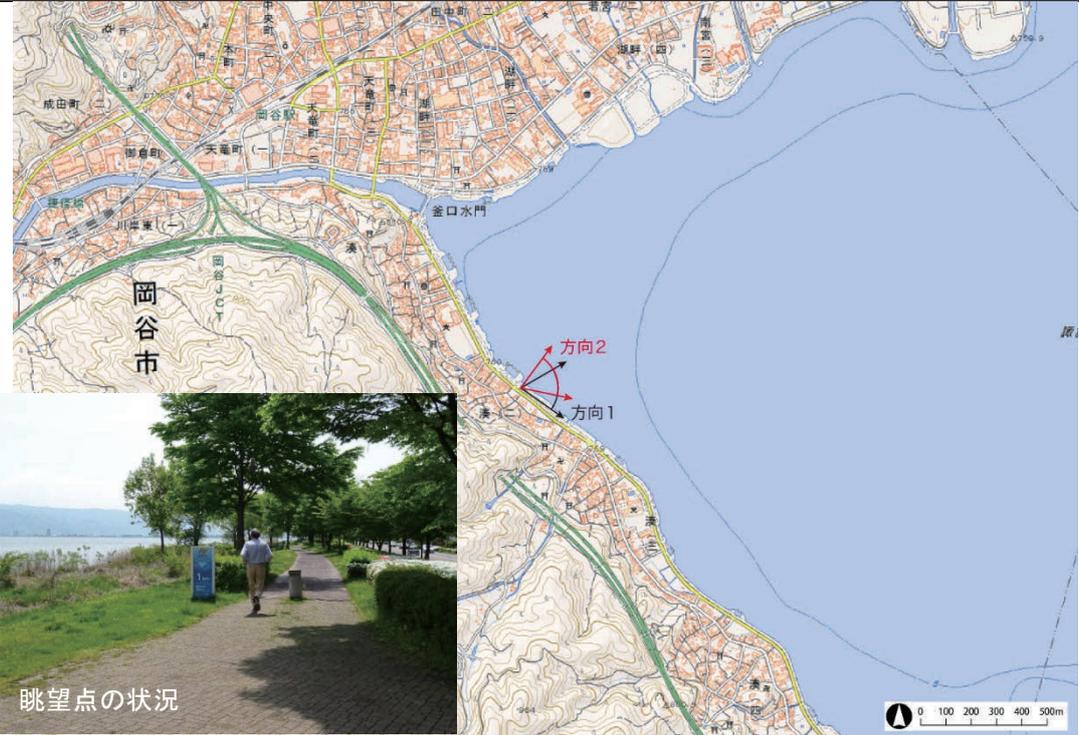
地点名	6 諏訪湖畔公園		
地点の全景	平成 28 年 11 月 16 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 13:40/天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 8.2km	事業地の方角	北東
	事業地中心付近まで 8.8km	標高	759m
眺望の対象	諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳等		
眺望点の状況	歩道端にあり、眺望のための施設等は整備されていない。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 8.2km 離れている。諏訪湖岸に位置し、近景の岸边はヨシ原、遠景は霧ヶ峰から八ヶ岳に連なる山並みが望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。ヨシ原は春～秋は緑、秋～春は茶色となる。また、遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があるが、平地部に位置するため少ない。諏訪湖は厳冬期には結氷することがあり、特異な景観が見られる。		
位置図			

図 4-12-12 地点 6 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-13(1) 地点 6 の眺望の状況（方向 1）



図 4-12-13(2) 地点 6 の眺望の状況（方向 2）

(7) 地点7 杖突峠

① 地点の概要

地点名	7 杖突峠		
地点の全景	平成 28 年 5 月 18 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 18mm / 時間 10:46 / 天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 9.0km	事業地の方角	北
	事業地中心付近まで 10.3km	標高	1,117m
眺望の対象	霧ヶ峰、八ヶ岳、諏訪盆地、諏訪湖等		
眺望点の状況	休憩所の建物2階が喫茶室となっていて、その外側に眺望のためのベランダが設置されている。ベンチ、展望案内板等が整備されている。展望台の開設期間は4月～11月末である。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約9km離れている。諏訪盆地の縁にあたる位置であり、眼下に諏訪盆地とその背後に霧ヶ峰や八ヶ岳連峰の山並みを眺められる、絶景ポイントである。対象事業実施区域は、諏訪盆地から車山に至る斜面の中腹に位置し、尾根筋の斜面が見える。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があり、雪化粧をした風景が見られる。		
位置図			

図 4-12-14 地点7の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-15(1) 地点 7 の眺望の状況（焦点距離 28 ミリ）



図 4-12-15(2) 地点 7 の眺望の状況（焦点距離 100 ミリ）

(8) 地点8 鳥居平やまびこ公園

① 地点の概要

地点名	8 鳥居平やまびこ公園		
地点の全景	平成 28 年 11 月 16 日撮影		
			
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5／35mm 判換算焦点距離 14mm／時間 14:14／天候 晴れ			
事業地からの距離	事業地端まで 10.3km	事業地の方角	東
	事業地中心付近まで 10.8km	標高	1,022m
眺望の対象	諏訪湖、諏訪盆地、霧ヶ峰、八ヶ岳等		
眺望点の状況	鳥居平やまびこ公園の最高点に位置し、展望台が整備されている。展望案内板、望遠鏡等が設置されている。		
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 10.3km 離れている。小ピークが公園として整備されており、展望台も設置されている。眼下に諏訪盆地と諏訪湖、その向こうに霧ヶ峰や八ヶ岳連峰が望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。周囲と遠景は森林であり、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。公園の開園期間は春から秋にかけてであり、冬季は閉園となる。		
位置図			

図 4-12-16 地点 8 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-17 地点 8 の眺望の状況

※冬季は公園施設修繕工事が行われていたため、春～秋とは撮影場所が若干異なる。

(9) 地点9 茅野市玉川泉野

① 地点の概要

地点名	9 茅野市玉川泉野			
地点の全景	平成 29 年 2 月 15 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5 / 35mm 判換算焦点距離 14mm / 時間 13:45 / 天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	10.7km	事業地の方角	北西
	事業地中心付近まで	11.6km	標高	1,083m
眺望の対象	八ヶ岳、霧ヶ峰、北アルプス			
眺望点の状況	道路端であり、眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 10.7km 離れている。近景は農地と集落、遠景に霧ヶ峰・車山の山地が望める。対象事業実施区域は、霧ヶ峰から延びる斜面の上部に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。周囲に広がる水田は、イネの生育に伴い景観が変化する。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。			
位置図				

図 4-12-18 地点 9 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-19(1) 地点 9 の眺望の状況（焦点距離 28 ミリ）



図 4-12-19(2) 地点 9 の眺望の状況（焦点距離 200 ミリ）

(10) 地点10 守屋山

① 地点の概要

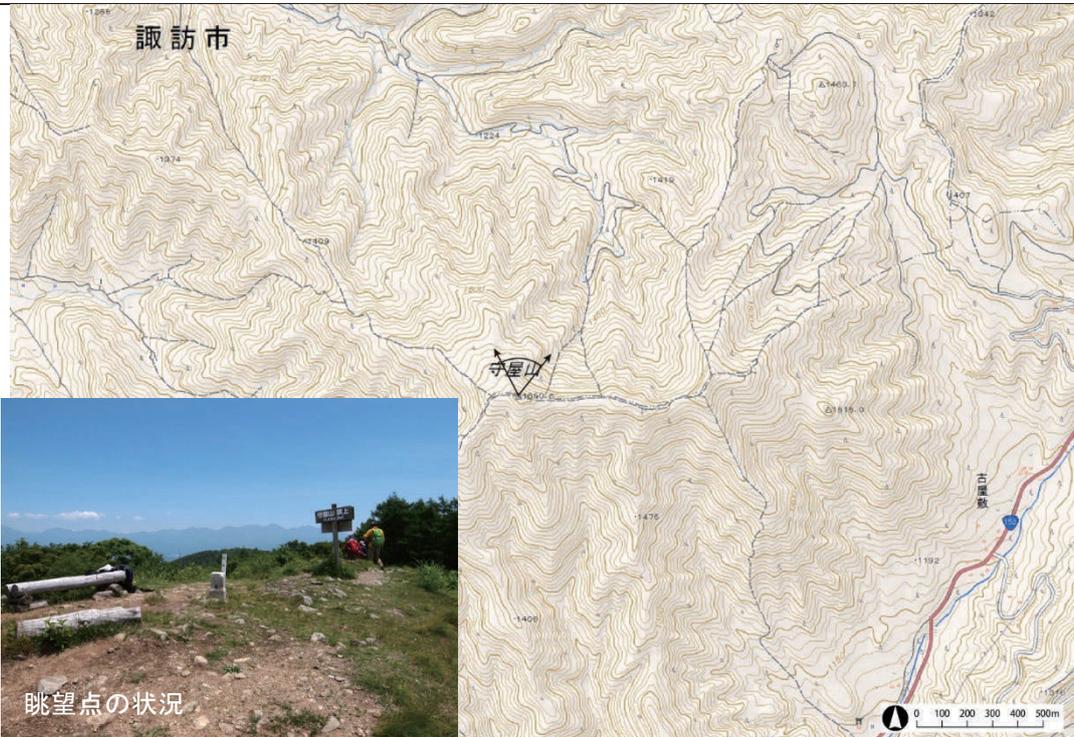
地点名	10 守屋山			
地点の全景	平成 29 年 2 月 15 日撮影			
				
撮影データ：カメラ OLYMPUS E-5/35mm 判換算焦点距離 14mm/時間 10:10/天候 晴れ				
事業地からの距離	事業地端まで	11.1km	事業地の方角	北
	事業地中心付近まで	12.3km	標高	1,650m
眺望の対象	北アルプス、霧ヶ峰、八ヶ岳、諏訪湖、諏訪盆地			
眺望点の状況	守屋山山頂付近の広場となっている。山頂全体は眺望が良く、この地点について眺望のための施設等は整備されていない。			
主要な景観の状況	対象事業実施区域境界までは約 11.1km 離れている。山頂からは諏訪盆地と諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳連峰をはじめ、南アルプス、中央アルプス、北アルプスなど周囲の山岳の眺望が得られる。対象事業実施区域は、諏訪盆地を挟んだ向かい側の斜面であり、尾根筋を中心に比較的広い範囲が見える。山頂周囲と遠景は森林であり、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があるものの、良好な眺望が得られることから、多くの登山者が利用している。			
位置図				

図 4-12-20 地点 10 の概要

② 季節ごとの眺望の状況



図 4-12-21 (1) 地点 10 の眺望の状況（焦点距離 28 ミリ）



図 4-12-21 (2) 地点 10 の眺望の状況（焦点距離 100 ミリ）